

名寄市のシンボル 市の木・花・鳥

Symbols of the City

(平成 18 年 7 月 25 日制定)



市の花/オオバナノエンレイソウ
The White Trillium

ユリ科の花で4月から5月頃に北海道の原野や広葉樹木の下にはえる多年草。凛とした1本の茎に3枚の大きな葉とよく目につく白色で気品の高い花が特徴です。開拓当時から住民に親しまれ、北海道大学の校花、また、名寄市とも親交が深いカナダ国オンタリオ州花でもあります。



市の木/シラカバ
The Siberian Silver Birch

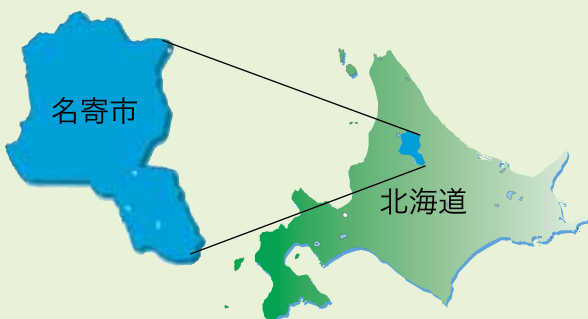
カバノキ科の木で市内の山野に広く自生し「森の貴公子」ともいわれ美しい林をつくっています。明るい場所を好み、成長が早いため、山火事や伐採など何らかの理由で森林が消滅した場合、そのあとに真っ先に生える樹木の一つです。樹液は人工甘味料キシリトールの原料になり、最近では採取した樹液をそのまま利用されることもあります。



市の鳥/アカゲラ
The Spotted Woodpecker

キツツキ科の留鳥で、夏期は、主に山地に棲み、冬期には、エサを求めて市街地に現れ、白、黒、赤の美しい配色で、人なつっこい姿を庭先で見ることができます。人家付近の樹木に穴を開け巣を作ることも多く、古損木や樹皮に寄生する虫を食べるため、その強い口ばしで木を叩く音は「森のドラマー」のニックネームもあります。

位置 Position・地勢 Topography



位置

東経 142度35分01秒～142度18分06秒
北緯 44度17分23秒～44度28分54秒

広ぼう

東西 22.2 km 南北 21.4 km (旧名寄市)
東西 29.78km 南北 13.62km (旧風連町)

面積 535.23km²

名寄市へのアクセス

- 名寄 — 旭川間 で約1時間30分
- 東京 — 旭川間 で約1時間30分
- 名古屋 — 旭川間 で約2時間
- 大阪 — 旭川間 で約2時間